



特集

ころばん体操教室

高齢者が元気であり続けるために

高齢者が元気であり続けるために

平成12年度に高齢期の暮らしを支える社会保障制度としてスタートした介護保険制度は、平成18年に予防重視型へ制度改正されました。

地域包括ケアシステムの構築に向けた医療、予防、介護、生活支援が一体的に提供される体制づくりなど、ますます充実した内容になってきました。

現在では、介護保険制度が浸透し、高齢者の方々が住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう各種事業に取り組んでいます。

本町は、高齢者数が約8,400人で、高齢化率は37%台まで上昇し、3人に1人が65歳以上という超高齢社会が続いています。

います。

このため、高齢者自らが健康を維持し元気であり続けるために、介護予防活動への取組も重要な課題となっています。

高齢者が社会参加しながら、尊厳をもって安心して暮らせる地域社会づくりをしていかなければなりません。

これからの介護予防は、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、人と人とのつながりを通じて、参加者や集いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、要介護状態になっても「生きがい・役割」を持って生活できる地域の実現を目指していきます。

地域の
寄り合いに
参加したい

孫の
結婚式に
出たい

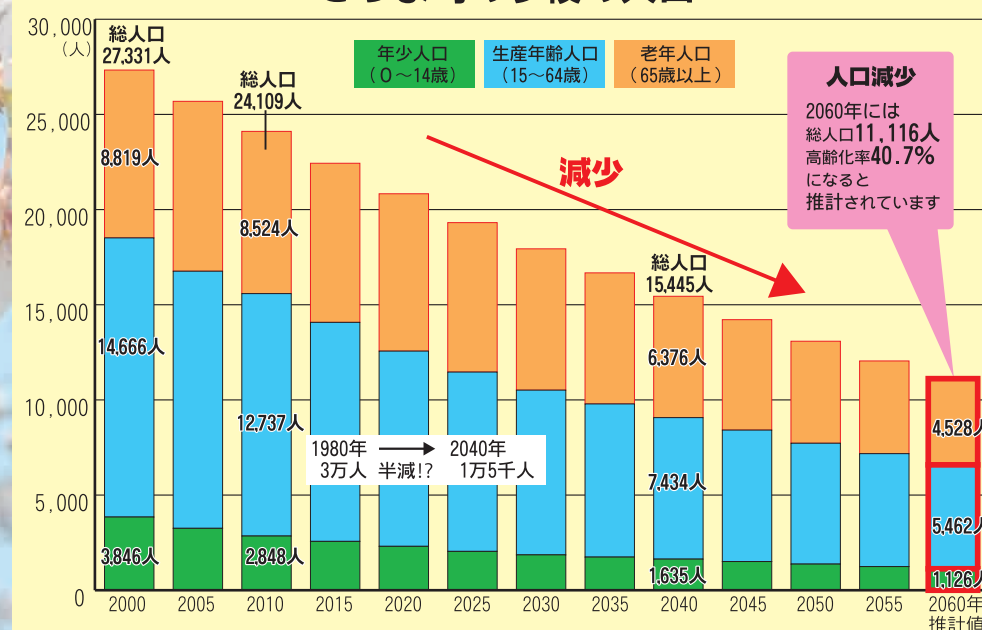
トイシは
自分で
行けるように
したい

近所の友人と
いつまでも
旅行したい

自分の
趣味を
楽しみたい

これからも
ずっと我が家
(さつま町)で
暮らしたい

さつま町の今後の人口



※2010 年までの人口は国勢調査、2015 年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）推計値

健康さつまポイント事業

自分の健康は自分でつくる

健康さつまポイント事業は、日頃から企業や団体、個人で健康づくりを積極的に進めてもらうことを目指しています。

町民が楽しみながら「自分の健康は自分でつくる」という意識の向上につなげていきます。この事業に平

成24年度は4,367枚、平成25年度は6,397枚の応募があり、参加数は年々増えています。町民の健康に対する意識の高まりが感じられます。



【健康さつまポイント事業の概要】

- 対象者** 町内に住所を有する18歳以上の方（学生を除く）
- 応募方法** 事前の登録が必要です。シール5枚で1回応募可能。1人何枚でも応募出来ます。
- 収集方法** ・町が実施する健康事業へ参加
・団体で登録し、健康づくりを実施
- 当選賞品** 平成27年度は以下のとおりです。
・1万円分の商品券…10本
・5,000円分の健康増進賞品又は購入券…100本
・3,000円分の温泉入浴券…60本
- 平成27年度の締切は、3月31日（木）です。
4月上旬に抽選を実施。当選者への通知は、4月下旬頃の発送をもって代えさせていただきます。

【お問い合わせ先】
健康増進課 健康増進係 ☎53-1111（内線2143・2144）

介護予防を応援します（3つのポイント事業）

高齢者元気度アップ・ポイント事業

高齢者が参加して楽しむ活動で、地域やグループで定期的に行っている活動に1ポイント（100円）の特典があります。

対象者：65歳以上で介護認定を受けていない方（介護保険料滞納者を除く）。
シール：1日1ポイント、年間50ポイントが上限。

高齢者元気度アップ
地域包括ケア推進事業

高齢者を支援する活動、地域を活性化する活動で、

介護支援
ボランティア事業

継続的な互助活動を行うグループに活動1時間に対して1ポイント（1,000円）の特典があります。

対象者：グループ構成員が3人以上で、その半数が65歳以上。

内容：高齢者の見守り、支え合いづくり、仲間づくり、ボランティア活動等。

※活動1日に1ポイントまで、年間120ポイントが上限。活動に補助を受けている場合は対象外。

介護高齢者等のお手伝い（生活支援）をする高齢者のボランティア活動。

※活動1時間に対して1スタンプ（100円）の特典があります。

対象者：65歳以上で、介護支援ボランティア研修を受講された方。

内容：レクリエーションなどの活動援助、高齢者の話し相手、散歩・移動の補助等。

※活動1日に2スタンプまで、年間60スタンプが上限。

施設や地域において、要

■お問い合わせ先
介護保険課 包括支援係（内線2172）

健康の秘訣は「歩くこと」



「いずれ歩けなくなるから、夫婦で歩けるうちに歩いておきたいですね」と話す、坂元忠郎さん(85)・玲子さん(82)夫婦（虎居）。毎日1時間のウォーキングが日課で、宮之城ウォーキング会に所属。ウォーキング歴は約56年。ウォーキング後のご飯は格別とのこと。

ころばん体操教室って何？

高知市の「いきいき百歳応援講座」を参考に、岡山県津山市が実施した事業です。鹿児島県でも津山市を参考に体操を広めている「いちき串木野市」にならい、本町でも平成27年度から町内6か所で開始しました。

使い、6種類の筋力トレーニングを続けることで、まず、体に筋力がつきます。筋力がつくことで体が軽くなり、動くことが楽になります。

参加者が集いの場で自主的・継続的に取り組むことが特徴で、週に1回又は2回、開催曜日と時間を決めて行います。

95歳女性も3か月後に杖なしで歩けるように

津山市では、事業開始時、95歳女性が3m先を目指してイスから立ち上がる、歩く、体の向きを変える、バランスをとる動作に杖を使い、ゆっくりゆっくりと歩いていました。その女性が週1回ころばん体操に取り組んだ結果、3か月後は杖なしで足取りも軽く、表情も別人のように明るくなりました。

おもりを使った「ころばん体操」

教室では歌を歌いながらイラストにある運動を行います

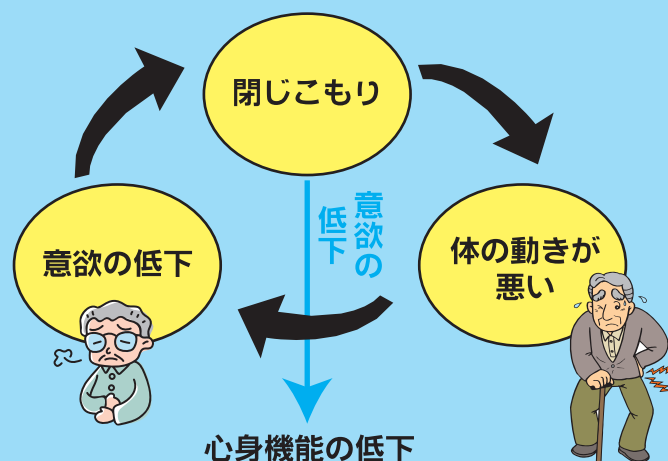
①腕を前に上げる運動 （肩関節屈曲） 実施上のポイント ・脇がひらかないよう上げる	②腕を横に上げる運動 （肩関節外転） 実施上のポイント ・肩があがらない ・体がたおれない	③椅子からの立ち上がり （膝関節の屈曲伸展） 実施上のポイント ・ゆっくりと ・「とすん」と座らない
④膝を伸ばす運動 （膝関節伸展） 実施上のポイント ・爪先を上に向けたまま最後まで膝を伸ばす	⑤脚の後ろ上げ運動 （股関節伸展） 実施上のポイント ・体が前にたおれない ・かかとをまっすぐ	⑥脚の横上げ運動 （股関節外転） 実施上のポイント ・体がたおれない ・爪先が前を向く

ころばん体操教室

地域で育む健康づくり

参加者からは笑顔と笑い声があふれます

筋力が低下してくると…



筋力が低下してくると、意欲が低下し、出かけなくなります。家事をするのも億劫になったりし、もう無理だと自信や意欲をなくすため、心身機能は更に低下してしまいます。



クオラリハビリテーション病院
理学療法士主任 藤田 和也さん (33)

継続は力なり
無理せず
基本に忠実に

こ ろばん体操はわかりやすい運動です。軽いおもりを使って長い回数行うことで、筋力がつき心肺機能も上がります。出来れば週に2回、ただ毎日するのは体に負担がかかるため控えてほしいです。長く続けるためには、無理していないと感じる程度が一番。体操を始めた当初はきつかったり不安があったりするかもしれませんが、出来るだけ長く、正しい動きの中で続けてください。軽い運動でも続けることで、必ず自分の体に変化を感じることが出来ます。また、歌いながら体操することで腹筋の体幹筋なども鍛えられ姿勢も良くなります。恥ずかしがらずに大きな声で歌いましょう。



町頭公民会
谷口 律子さん (73)

健康長寿を目指して

年 齢と共に筋力も弱まり、寝たきりの生活になったら大変です。色々な会合に出席して、私たちの公民会も健康長寿を目指したいと思いました。元気な方が多く、集まりもいい私たちの公民会。近くに体操教室があれば気軽に参加できるのではと始めました。体操を始めてまだ4回目ですが、体が軽くなりました。普通の体操は動きが早いですが、ゆっくりと腕や脚を上げたりするのがいいのかもしれないかもしれません。皆さんから、気心の知れた方々で行えて楽しいと言ってもらえるのがうれしいです。現在も参加を呼びかけていますので、多くの方に参加してほしいです。「えがおのすてきなまち『まちがしら』」を目標に。



鶴田西高齢者クラブ
増田 正勝さん (71)

自宅から出てきて
一緒に楽しみましょう

毎 日5kmのウォーキングと、朝6時半からラジオ体操を行い、健康と食事には気を付けています。昨年4月、町公民会行政連絡員研修会で、岡山市の予防教室「こけなからだ講座」のビデオ上映がありました。鶴田地区でもやってみようと思い、11月の健康教室で希望者を募り1月8日から開始。体操を始めてから筋肉が痛いため、普段使っていない所が動いているんだと実感しています。鶴田西高齢者クラブの会員は約70人ですが、現在の参加者は約20人。曜日が合わずに参加できない方もいるため、1クール（3か月）終わったら曜日を増やすなどして参加者を増やしていきたいです。

こ ろばん体操教室 私たちがお手伝いします

特集

町が行う支援の例

こ ろばん体操教室を始め
る前はみんな不安です。でも
安心してください。私たち
（理学療法士、保健師など）
がお手伝いします。

1回目

各公民会などの支援者の
方々（世話役さん）へ説明
を行います。

支援者：公民会長、民生
委員、婦人会、健康づくり
推進員、在宅福祉アドバイザーなど

2回目

対象者（高齢者）への説
明と、初回の体力測定及び
身体状況調査（教室を継続
する上で、効果判定に必要
）を行います。内容は、
教室開始前の歩行状態等の



2回目に実施する体力測定（片足立ち）



私たちと一緒に始めてみませんか

ビデオ撮影、アンケート、
簡単な体力測定です。

CDや歌詞カードは町が
準備しますので、保健師や
理学療法士・健康運動指導
士などの指導のもと、体操
を行っていただきます。

※所要時間は2～3時間程
度

3～5回目

おもり（パワーリストバ
ンド）を使って、保健師や
理学療法士・健康運動指導
士などの指導のもと体操を
行います。

※所要時間は1時間程度
6回目以降

参加者の皆さん方で、毎
週1回自主的に継続して実

施してください。

◎守っていただきたいこと

週1回は集まって体操を
してください。体調が悪い
時や、血圧が安定しない程
度は、休むが無理をしない程
度で行ってください。

☆3か月目

町から保健師等が訪問し、
体力測定と身体状況調査を
行います。効果が出たら更
なる改善を目指し、継続し
ましょう。



地域リハビリテーション広域支援センター
理学療法士の皆さん。私たちが指導します。

お問い合わせ先

健康増進課 健康増進係
☎（53）1111
（内線2144）

こ ろばん体操教室 今後の目標



平成27年度
【現在119人参加】
6 か所実施中

平成28年度
【目標参加者300人】
20か所以上立ち上げ

平成29年度
【目標参加者500人】
35か所以上立ち上げ

平成30年度
【目標参加者700人】
50か所以上立ち上げ

こ ろばん体操
「町民大会」の開催



おもりを使った
こ ろばん体操
始まっています

「こ ろばん体操」は、
住民の助け合いの力を借
りています。運営もです
が、それ以上に大切な
は、住民同士のつながり
です。「肩があがるよう
になった」「家にいたつ
てテレビを見るだけで
しょ？ここに来た方が楽
しいもん」と喜びの声が
聞かれます。

住民同士の会話の中に、
参加者も運営する側にも
喜びがあり、地域の中で
自分の居場所を感じ、そ
れが生きがいにつながっ
ているのだと感じます。
参加者が集まり、楽しそ
うに過ごしているの
お手伝いしている私たち
も、とってもうれしい限
りです。



健康増進課 健康増進係
保健師 今西 雅子

こ ろばん体操教室 健康づくりが興す共生の風

町長マニフェスト報告

平成26年度・27年度の取組状況

日高町長の2期目のマニフェスト（政策公約）につきましては、平成25年度から3つの姿勢を基本に、4つの戦略目標を掲げ、町の発展に向けた取組を進めています。

平成26年度までにマニフェスト48項目全てに着手し、具体的な個別事業数は110事業。全体的な進捗率は77%（前年度73%）となっています。

姿勢

戦略目標

- ① 誠実で公正かつ透明性の高い町政
- ② 住民視点・現地現場主義による対話と協働の町政
- ③ 効率とスピード重視の町政
- ④ 財政健全化による安定した行政サービスの町

①元気の出る農林・商工業の町

「薩摩のやいま」ブランドの確立

J A北さつまと連携し、関東、関西等で町長自らトップセールスを積極的に行いながら、薩摩のさつま推奨品の販売促進に努めました。



ブランド指定は「イチゴ、トマト、水煮たけのこ、焼酎、米」の5品目で、キンカンはブランド名を「さつまゴールド」と別に定めています。

担い手の確保

認定新規就農者や認定農業者の確保に努めたほか、青年就農者への助成制度などの周知を行いました。農用地等の所有者の委任を受けて、貸付けを行う農地中間管理事業にも取り組ましました。

さつま牛の生産振興

町内に保留・導入された郡子牛展示品評会秀賞牛は、多数各種共進会（町・川薩・県）へ出品されています。平成26年度は県畜産共進会へ7頭出品されるなど優秀な成績を収めています。秀賞牛の保留・導入で、町内繁殖雌牛飼養頭数が増加するなど事業効果が表れています。



「さつまたけのこ」の産地づくり

竹林改良や作業路を整備し適切な管理を行うことで、早掘りたけのこの生産等の向上に努めました。

平成27年度から町内の方が出荷するパルプ用竹材の竹チップ等製造販売業者の竹の買取り単価を1kg当たり2円から2.3円に上乗せし、10円00銭に増額しました。



6次産業化

加工技術習得や研究のため、加工センターの活用が高まっており、農業の6次産業化（農産物生産・加工・流通販売）の推進に努めました。

有害鳥獣対策

猟友会・駆除隊の協力のもと、捕獲と電気柵設置による防護の両面から総合的な取組を強化しています。

商工振興

商工会と連携し、プレミアム率を引き上げた年2回の商品券発行や小売業等店舗整備支援事業及び旅館業等施設整備事業の継続のほか、新たに商工業制度資金利子補助助成金制度を創設しました。

企業誘致と雇用促進

既存立地企業や本社への訪問をはじめ、企業立地促進助成金制度などの情報提供等を行いながら、企業の立地・増設を促進し、雇用の確保に努めました。

不妊治療支援

経済的に負担の重い不妊治療の負担軽減をすることで、若い世代の妊娠・出産の希望をかなえる支援を行いました。

高齢者福祉・介護予防活動の推進

高齢者の豊かな経験を活かす、高齢者ふれあいサロンの活動や、社会参加を支援することで、高齢者の生きがいづくりと健康寿命の延伸につながる介護予防活動推進に努めました。



地域医療の確保

町民が安心して地域医療を受けるために、薩摩郡医師会病院に二次救急医療や医師確保について支援いたしました。

健康づくり

「健康づくり推進の町宣言」に基づき、各種の健診、予防接種助成、訪問指導、健康相談、健康体操等を充実しながら、健康寿命の延伸に努めました。

③ふれあいのある生き生きとした住みたい町

町の情報発信

町のイメージキャラクター「さつ

まるちゃん」の活用や観光夢大使「かぐや姫」



グリーン・ツーリズムの推進

グリーン・ツーリズム研究会を中心に荷掘り、紙漉き、竹炭焼きなどの森林体験学習、修学旅行受入、研修視察、セミナーを開催したほか、鹿児島大学地域医療学生の体験・宿泊等を2年受入れました。

コンベンションタウンの推進

県内外から本町にスポーツや文化団体の大会、合宿等を誘致し、交流人口が年々増加することで、商業や観光等の活性化に努めました。

国民文化祭の開催

こども読書フェスティバル、郷土芸能祭、ゆるキャラ®&大鍋フェスタ、併せてさつまフェスタも同時開催し、参加者を含め町内外から3万人が訪れました。

おもてなしなどの運営も順調で、さつま町10周年を記念する象徴的なイベントとなりました。



北薩広域公園、北薩横断道路等の整備促進

北薩広域公園のテーマゾーン等や北薩横断道路等の整備促進のため、毎年度、国や県へ関係機関と連携し要望を続け、予算措置されました。

住みやすい環境の推進

危険廃屋の解体撤去並びに住宅用太陽光発電システム設置補助は、3年間の期限付き事業でしたが、多くの利用がありまし



「あいさつ」や「読書」町民運動の推進

心豊かな青少年育成のため、「あいさつ」や「早寝・早起き・朝ごはん」「読書」を町民運動として重点的に進めてまいりました。

町域の均衡ある発展と住環境対策

個人住宅の環境改善や本町の経済効果を高めるため「住宅リフォーム支援事業」を実施。平成27年度からは空家も対象としています。

平成26年度からは「周辺地域活性化対策事業」として、住宅の建築、購入に對しての助成制度も新設し、定住促進にも努めました。



②子どもやお年寄りも安心して暮らせる町

保育料の軽減

国基準の階層より細かく区分をして保育料を算定し、保育料の助成を行うことで経済的負担を軽減し、安心して子育てができるようにしました。平成27年度からは更に第1子保育料の1割軽減を実施しました。このほか、平成26年度から病児保育にも取り組みました。



療育支援、障がい児支援

早期支援のため親子教室など関係機関と連携を強めながら、個々の成長、発達を促す療育支援や、障がい児特別対策に取り組み、利用者も増加傾向にあります。

④財政健全化による安定した行政サービスの町

行政サービスの向上

一人ひとりの能力開発と意識改革を促し、高度化・多様化する住民ニーズに対応できる職員を育てるため毎年度各種研修を実施しています。

職員の定員管理

計画目標の平成27年4月1日時点における職員数325人（合併時から100人減）を達成しました。

行政組織改編

時代の変化に即応するため、行政組織の改編をしました。5課・7係減

「管理計画」を策定し、民間譲渡・貸付・廃止等を進めながら、検討委員会で管理の方向性を調査・検討し、利用計画のない町有財産は、売却等の処分を行いました。

行財政改革

人件費や借入金等の縮減の一方、貯金の増加等に努めました。今後、国の制度改革や人口減により普通交付税や町税の減少する中、社会保障費の増大などが大きな課題となるため、引き続き行財政改革に取り組めます。

お問い合わせ先

企画財政課 政策推進係
☎（53）1111（内線2223）

さつまの挑戦 未来を拓く 若い力

総合戦略で達成したい 5つの基本目標

平成27年度から31年度までの基本目標を定めた「さつま町まち・ひと・しごと創生総合戦略」。今回は、総合戦略で達成したい5つの基本目標をご紹介します。



若い世代が芽吹く
「さつま町」で産み、育てる

結婚・出産・子育てのしやすい環境を自治体だけではなく、企業や住民など地域全体で支えていく仕組みづくりなどを行うことで、若い世代が安心して生活ができるよう「オールさつま」で取り組み、子育てを支援します。

- 出逢いから結婚・出産までの応援システムの構築
- オールさつまで取り組む子育て支援

基準値（H26）▶目標値（H31）	
合計特殊出生率	1.78 ▶ 1.89
子育て環境満足度	31.4% ▶ 50.0%



地域の幹となる産業を育む
「さつま町」で働く

魅力ある地域資源を糧として、農林畜産業を中心に町の基幹産業を育成するとともに、商工業による6次産業化など幹から新たな産業が生まれ枝葉のように生い茂るよう、地域全体で町の産業を強く太く育てます。

- 「さつま」の農業ビジネスプロジェクト
- 豊富な「竹」資源を活用した産業の活性化
- ものづくりをはじめとする商工業の活性化

目標値（H31）	
新規雇用者数	累計310人



人々がふれあい、にぎわい、
観光交流の花咲く「さつま町」に住む

観光や移住の推進において、イメージ戦略の実施などにより、人を惹きつける「花」のように、町の魅力を磨き効果的に発信することで交流人口や定住人口の増加による町のにぎわいを創出します。

- イメージ戦略の実施による観光ブランド化の推進
- 川内川を活かした新たな観光需要の創出
- 包括的支援体制の構築による移住・定住の促進
- 地理的優位性を活かした新たな交流・定住圏の構築

基準値（H26）▶目標値（H31）	
交流人口	128万人 ▶ 200万人
社会増減人口	-101人 ▶ -50人



「こころ豊かな成熟した
「さつま町」で学び、暮らす

生涯にわたり学びを深めることで、みんなが自分らしい暮らしができるように、地域全体で思いやり、支え合う体制づくりを推進するとともに、住民参画による地域づくりの充実と地域間のネットワークの構築による小さな拠点の形成を推進します。

- 安心して暮らせる地域づくりの充実と小さな拠点の形成

基準値（H26）▶目標値（H31）	
地域コミュニティ満足度	33.5% ▶ 50.0%



未来へはばたく
「さつま町」を創る

「さつま町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進することで、次世代へ「さつま町」の魅力をつなげ、未来へはばたく「さつま町」を創ります。これからも町民全員が協力しながら、元気で魅力あるふるさと「さつま町」をつくりましょう。

■お問い合わせ先 ☎（53） 1111
企画財政課 政策推進係（内線2223）

目標値（H31）	
総合戦略施策実施率	100%

郵便局と災害時協定を締結 情報の相互提供

2月1日、町内の11郵便局と災害発生時における相互協力に関する協定を結びました。

本協定は、平成20年に締結した災害協力協定を見直すもので、災害時において、被災者へ迅速・円滑な郵便物の配達、被災状況の情報提供や被災者の安否確認等について相互に協力するものです。



協定書を手にする薩摩郵便局の宮原良治局長と日高町長（左から）

整備促進期成会 国へ道路整備等を要望

1月26日、国土交通省において、地域高規格道路「北薩横断道路」の整備促進のための要望活動を行いました。日高町長などが、徳山国土交通事務次官、五十嵐道路局官房審議官、川崎道路局国道防災課長に対し、「阿久根高尾野道路」の平成28年度新規事業の実現について、強く要望しました。



徳山国土交通事務次官（中央）への要望

湯気院が工場増設 立地協定を締結

2月17日、有限会社湯気院の菓子製造工場増設に伴い、立地協定の調印式が行われました。

同社は和菓子の製造・販売を主体として事業を展開。今回、洋菓子の製造・販売の規模拡大を目的に宮之城屋地商店街内に増設されます。工場の建設等により、約1億3千万円の設備投資と4名の新規雇用を予定し、平成28年11月の操業開始を目指しています。

此元正明代表取締役は「多くの方に来ていただけるような商品づくりと商店街の活性化にも取り組みたい」と語られました。



がっちりと握手する森山県商工労働水産次長・此元代表取締役・日高町長（左から）

統合10周年を祝う 町シルバー記念式典開催

2月10日、町シルバー人材センター統合10周年記念式典が宮之城文化センターで開催され、関係者など約200人が出席しました。

同センターは平成16年9月、宮之城町シルバー人材センターに鶴田・薩摩町のセンターを統合。平成17年4月1日、社団法人さつま町シルバー人材センターに名称を変更し、平成23年4月1日に公益社団法人に移行しました。現在会員数277人で、26年度の契約額は県内3番目。

式典では、濱田等理事長が「会員の拡大と就業機会の確保に努め、町民の皆様信頼され親しまれるとともに、地域社会の活性化並びにまちづくりに



盛大に開催された記念式典



特別表彰を受けた101歳で会員の宮崎貴さん（右）



コーラスグループ・メソフォルテによる合唱。会員3人も参加。

貢献できるよう努めます」とあいさつされました。続いて、永年にわたりセンター発展に貢献された企業・役員・会員などに感謝状や表彰状が贈られました。受賞者を代表して3企業から、シルバー会員に対する日頃の協力お礼と、今後も末永い支援をお願いしたいと要望がありました。

会員で表彰を受けた米盛弘文さん（山崎）は、「平成23年9月から5か月間、総延長73kmの林道清掃作業を実施しました。安全就業と日々の目標を明示したことで、無事故で完遂できたことが今も心に残っています」と思い出を発表されました。

結びに「多種多様な就業スタイルに対応できるよう体制作りに努めます」と会員2人が10周年の誓いを朗読。多くの拍手が送られ、幕を閉じました。

ひと・自然 元気がやぐ さつま町

第11回 さつま町民大会

2月21日、宮之城文化センターで開催され、約600人が参加しました。

オープニングでは、求名小学校の児童5・6年生13人が、劇「この田に水を」を発表。ふるさとの先人が行った水田開発の実話を題材に演じ、会場からは大きな拍手が送られました。

参加者全員による町民憲章朗読のあとは、町民表彰や社会福祉事業功労者表彰をはじめとした各種表彰式、生涯学習発表が行われました。

生涯学習発表では、さつまふるさと体験塾生による中種子町での交流などの体験発表、いぬまき大学レクダンスクラブやハーモニーさつまによる発表が行われました。

戦場カメラマンの渡部陽一さんによる記念講演では、自らが体験した「戦場」について、現地の映像や写真を織り交ぜて語られました。渡部さんは「戦争の犠牲者はいつも子どもたち」と繰り返し、いたたまれなくなるような場面を一言一言確かめるように話



ゆっくりとした語り口で平和について話す渡部さん

されました。観客にとって、平和のありがたさを噛み締める機会となりました。

ほかに、福祉団体によるフリーマーケットや生涯学習講座受講生や高齢者学級などによる作品展示もありました。

「かがやく町」を実現するためには、多くの仲間と共同し、何歳になっても好奇心をもって学び続けることが必要であるとの思いを一つにする一日でした。



①町民憲章朗読 ②求名小の児童劇「この田に水を」、水が出て喜ぶ場面
③町民表彰を受ける小緑さん ④いぬまき大学レクダンスクラブによる発表
⑤生涯学習講座受講生などによる作品展示
⑥ALTによるお茶のおもてなし ⑦ハーモニーさつまによる発表

町民表彰

(敬称略)

■特別功労者

・社会福祉功労者

小緑 絹代

・総合部門功労者

故 山下 傳

■永年勤続者

河野 武雄

堀 辰彦

■特別表彰(一般篤行)

佐藤 昭浩

山脇 歩子

社会福祉事業功労者

(敬称略)

有村 富久美(虎居)

外越 照久(船木)

木下 順子(中津川)

藏野 美紀子(求名)

白石 悦子(中津川)

櫻井 礼子(求名)

久木元より子(永野)

今屋 市子(中津川)

原之蘭 末子(佐志)

会場全体で

音楽を満喫

吹奏楽フェスタ



吹奏楽の伴奏に合わせて校歌を歌う泊野小学校児童

1月31日、みやんじょ吹奏楽フェスタ2016が、宮之城文化センターで開催されました。

今回で16回目を迎え、鶴田小、盈進小、町内3中学校(宮之城・鶴田・薩摩)の吹奏楽部をはじめ、全国レベルの宮之城吹奏楽団や薩摩中央高校吹奏楽部、本町にゆかりのある吹奏楽経験者の合同ステージなど、小学生から60歳代まで幅広い方々が参加しました。会場ロビーでは、昨年に引き続き、東日本大震災や各地で頻発する自然災害からの復



フェスタのために集まったメンバーで旺巻の合同演奏

興支援として、義援金箱の設置やチャリティーバザーが行われました。

今回は、平成27年度で閉校となる町内5つの小学校(白男川、紫尾、泊野、柊野、平川)の児童も参加しました。児童たちは、特別ステージとして、各校の校歌を宮之城吹奏楽団による吹奏楽伴奏で斉唱しました。客席では、児童たちの元気あふれる歌声や残り少ない校歌斉唱に感銘を受ける姿も見られました。

各団体もそれぞれの演奏で観客たちを魅了し、吹奏楽の魅力余すことなく伝えていきました。「吹奏楽の町」の名にふさわしく、出演者、観客ともに音楽を十分に満喫するひとときとなりました。



もずやん(後列中央)と一緒に記念撮影

子どもたちからの手紙にこたえ来町 大阪の「もずやん」

1月15日、大阪府広報担当副知事の「もずやん」が本町を訪れました。

もずやんは、昨年11月に本町で開催された国民文化祭・ゆるキャラ®&大鍋フェスタに出演予定でしたが、急きょ参加できなくなりました。今回、フェスタ前にもずやんへウェルカムレターを送っていた盈進小学校と宮之城中学校の児童生徒の期待にこたえ、さつま町ちゃんと一緒に両校を訪ねました。

日本ご当地キャラクター協会から、大阪のことやもずやんについて紹介があった後、ジャンケンゲームや握手、ハグなどをして盛り上がりしました。

協力隊OGから コスタリカを学ぶ 山崎小で出前授業

1月28日、青年海外協力隊として中南米のコスタリカで活動した貴島三実さん(霧島市)が、山崎小学校3・6年生53人に授業を行いました。

貴島さんは、現地の小中学校の給食で利用するため、農薬や化学肥料を使わない野菜作りを指導していました。

児童は、コスタリカがコーヒー豆の産地であることや映画ジュラシックパークの舞台となったように自然豊かな国であることなどを学びました。貴島さんは「世界には戦争や自然災害で苦しんでいる人がたくさんいます。より良い世界となるように一人ひとりが今できることを考えてください」と話されました。



コスタリカのあいさつを教える貴島さん

交通安全教室で ポイント貯める メリット抽選会

2月5日、宮之城文化センターで第16回高齢者交通安全ポイント抽選会が開催されました。

高齢者の交通事故防止を目的として、運転免許の返納や交通安全教室の受講で得られるポイントが満点に達した高齢者を対象に抽選会が行われました。今年は615人が満点を達成し、97人が運転免許証を返納されました。

会では、紫尾がいからげ劇団のみなさんの寸劇をはじめとするアトラクションのほか、達成者を代表して、平川高齢者クラブ会長の市来勉さんが「交通安全の誓い」を述べられました。



松永勇一さつま警察署長に交通安全を誓う市来さん(右)

入試に向け合格祈願

地元食材で受験生を応援



左から米澤さんと園田会長

開運きんかん 食べて合格を

1月29日、山崎中学校で、北さつま農協さつまハウス金柑部会（園田武徳会長ほか19人）による「開運きんかん」の贈呈式が行われました。

町特産のハウスきんかんを食べて、風邪の予防と受験を控えた中学3年生の合格を願う、町内4中学校に「開運きんかん」1,250個が贈られました。今年で3回目。

同部会では、栽培面積約5ヘクタールで、約70トンを中心に東京・名古屋など県外に出荷予定です。

今年は、台風などの影響で

収穫は例年の7割ほどですが、出来は例年並みだそうです。

代表受領した3年生の米澤圭太さんは「受験に全員合格して、高校生活でも元気に風邪をひかずに過ごしたい。きんかんは甘くておいしかったです」と話しました。

この日の町内14小学校の給食には、町が贈呈。児童生徒たちは、甘くて美味しいきんかんを味わいました。

トンカツ食べて 受験に勝つ

2月5日、鶴田中学校で、旭ファーム株式会社（大迫尚至社長）による豚肉120kgの贈呈式が行われました。

同社は、約2万頭の豚を飼育しており、地元小中学校の給食への提供は今回が2回目。贈られた豚肉は、同社が生産するブランド「鹿児島OX」と「鹿児島OX」。



美味しいトンカツに笑顔がこぼれます

木沢農場長の外川内健さんは「地元に通っていないので、この機会に知ってほしいです。豚肉を食べて入試まで頑張ってください」と話されました。

交流給食は、公立高校の入学試験を間近に控えた3年生の教室で実施。日高町長と東教育長も参加し、生徒たちと一緒にカツカレーを食べました。

3年生の新改優斗さんは、「トンカツを食べて、より一層受験勉強に精を出せるよう頑張っていきます」とお礼の言葉を述べました。

この日用意された約2,000食分のトンカツは、鶴田幼稚園と18小中学校でも振る舞われました。

プロサッカー さつまでキャンプイン



1月26日、インターナショナルゴルフリゾート京セラでベガルタ仙台の激励式が行われました。

式では町・県関係者などからイチゴやトマト、さつまあげ、黒豚などが贈られました。渡邊晋監督は「心温まるもてなしに感謝します。鹿児島キャンプでたっぷりとパワーを蓄え、今季は上昇したいです」と話されました。

このほか、ギラヴァンツ北九州やカマタマーレ讃岐、F C町田ゼルビアなども本町でキャンプを行いました。各チームの活躍が期待されます。

鶴田ダム再開発事業 情報館の見学者 1万人突破

1月28日、鶴田ダム再開発事業情報館の見学者が1万人を超えました。

平成23年の開館から約4年9か月の達成。見学者の川内商工高等学校1年生65人を迎え、セレモニーが開催されました。

鶴田ダム再開発事業は、世界的にも珍しい工法を用いて行われ、日本全国はもとより



くす玉を割って祝いました

ささ福かざりが 商店街を彩る

宮之城初市

2月7日、盈進小学校前町道で毎年恒例の宮之城初市と百縁祭が開催されました。

初市では、露天商をはじめ、宮之城人形の販売や薩摩中央高校による野菜と花苗の販売などがありました。



初市恒例の宮之城人形もお出迎え

宮之城屋地や虎居商店街の店舗などでは、NPO法人ひつ翔べ！奥さつま探検隊と商工会女性部による、さつまのささ福かざりもお披露目されました。

さつまのささ福かざりは、さげもと言われ、着物の端切れなどで作った飾りをひもでつないで輪につるしたもの。



色鮮やかなささ福かざりにうっとり

声援飛び交い カンもる

綱引選手権

2月7日、第11回二階堂旗争奪町綱引選手権大会が宮之城総合体育館で開催され、4部門に26チーム約280人がエントリーし、熱戦が繰り広げられました。

小学生はフリーの部4チーム、280kg以下の部に12チームが出場。選手はもちろんのこと、保護者や先生方も一生懸命応援していました。学校再編により単独校としては最後の出場となる、平川小と泊野小の児童たちも、練習の成果を十分発揮し、一生懸命頑張っていました。

一般は、男子の部に4チー



一般の部の試合も迫力満点！



大きな声援を受けて粘り強く頑張る選手たち

温泉で美肌に ガイドブック完成

町観光特産品協会では、温泉の町をPRするため「町温泉ガイドブック」を1万部作製しました。

本町は、神の湯と言われる「紫尾温泉」と美人の湯と言われる「宮之城温泉」を中心に、町内に27か所温泉施設が点在。ガイドブックは温泉施設の紹介や歴史、美肌温泉を楽しむための入浴5か条などを掲載。イラストは本町在住のイラストレーター竹添星児さんが描きました。

役場のほか、各温泉施設で配布しています。





「第11回さつま町読書感想文・感想画コンクール」結果発表

秋の読書週間に合わせて開催している「読書感想文・感想画コンクール」に、今回もたくさんの作品をご応募いただきました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。入賞者のうち、最優秀賞に選ばれた方は次のとおりです。受賞者の皆さん、おめでとうございます!!

読書感想文 最優秀賞(応募数 74 点) 敬称略 **読書感想画 最優秀賞(応募数 264 点)** 敬称略

部 門	学校・学年・氏名	題 名	部 門	学校・学年・氏名	題 名
小 学 校	低学年 永野小2年 山元 あいり	やさしい心の耳で	小 学 校	保育園・幼稚園 旭保育園年長 松山 真鈴	かばくん
	中学年 中津川小4年 木下 新菜	「ココロ屋」を読んで		低学年 紫尾小1年 富満 馨	よかったね。 じぞうさん!!
	高学年 紫尾小5年 田島 弥佳	走れメロスを読んで		中学年 平川小3年 市来 優斗	金太郎がんばれ
中学校・高校	薩摩中3年 平木場 万綾	五分間の物語を読んで	中学校・高校	高学年 求名小5年 大工園 海和	幸せは 自分の心がつくる...
				中学校・高校 鶴田中1年 谷山 陽奈	心の傷

返し忘れている本、ありませんか?



3月に入ると、進学や就職などで引越しをされる方が多くなります。お引越し予定の方、返却していない図書室の本はありませんか? 荷造りの前にもう一度、ご確認ください。返却期限を過ぎていても構いません。閉館時間や休館日のときは、各図書室に設置してあるブックポストをご利用く

ださい。また、図書室の本を紛失されたり破損されたりした場合は、ご自分で補修せず、お早めに借りられた図書室へご連絡ください。

**図書室の本は、町民皆様のものです。大切に取
り扱ってくださるようお願いします。**

オススメの 新着本

※紹介したものの以外にもたくさんの本が入っています! 詳しくは各図書室へお尋ねください。
(出版社の了承を得て掲載しております。)

【鶴田中央公民館図書室】



キナコ

いとう みく 作/青山 友美 絵
(PHP研究所)【児童書】

キナコは、ねこだけど、あたしの妹です。なのに、赤ちゃんが生まれるからって、ママがキナコをじゃまにしたから…。家族が増えることに対する戸惑いを通じて成長する女の子の物語。

はるののはら

竹下 文子 文/さこ ももみ 絵
(ハッピーオウル社)【絵本】

こねこの3きょうだいは、お母さんが作ってくれたお弁当を持って、野原へ遠足に出かけたよ。3きょうだいの楽しい春の1日をあたたかな色彩で描きます。



【屋地楽習館図書室】



不動の魂

五郎丸 歩 著
(実業之日本社)
【一般書】

つまをめとらば

青山 文平 著
(文藝春秋)
【一般書】



【こども図書館～えほんの森～】



だから走るんだ

中川 洋典 作
(あかね書房)
【絵本】

日本の神さま

お話ずかん編集委員会 編
(学研教育出版)
【児童書】



【お問い合わせ先】・教育委員会 社会教育課 ☎53-1111 (内線2531) ・こども図書館～えほんの森～ ☎57-1202
・鶴田中央公民館図書室 ☎53-1111 (内線4412) ・屋地楽習館図書室 ☎53-1994

よかところ再発見

まちの歴史探訪②

佐志の十三仏

じゅうさん ぶつ



今回は、佐志地区の田原にある町指定文化財「十三仏」についてご紹介します。

十三仏とは、初七日から三十三回忌まで、冥界で死者に裁きを下す13の仏のこと。もともになったのは、初七日から三回忌まで、死後7日ごとに裁きを下す十王(閻魔王など)への信仰。のちに、その後の審理(七回忌・十三回忌・三十三回忌)を司る3人の王を加え、13人の王たちが仏としての姿を現したものを信仰するようになりまし

た。この石造物は田原字古城にあり、宮之城ひまわり館前の道路を佐志方面に向かい、日本特殊陶業近くの橋を渡って100mほど行くと、道の左手側にあります。

正面には不動明王、文殊菩薩、普賢菩薩、地藏菩薩、

弥勒菩薩、薬師如来、観音菩薩、勢至菩薩、阿彌陀如来、阿閼如来、大日如来、虚空蔵菩薩の13体の仏が刻まれ、石碑の上には天蓋がつき、台石は蓮台となっています。また、右側面には、「道久、妙金、善意、妙圓、浄慶、道瑚、妙了が十三仏一基を建てて、一切の罪科の消滅を願う」といった意味の文が刻まれています。

生前から死後の世界で生前の罪科が消滅し極楽浄土に行けるようにと願って造られたものなのか、残された人々が故人を思っ

て造られたものかは不明ですが、十三仏信仰の様子が分かります。十三仏の信仰は、全国的には江戸時代以降に流行しました。銘にある年号は天文十六年(1547年)とありますが、その当時にはさつま町に高度な仏教知識を持った人々がいたことがわかります。

隣接する2基の五輪塔は、形状や位置関係から十三仏の時期と同じ頃のもの

とみられ、なんらかの関連性があったと考えられます。



十三仏(左)と周辺の五輪塔

知って得する

27年度を振り返って



こまつちゃんの消費生活基礎講座

第22回

安心安全で暮らしやすい町 さつま町

声を掛け合い、見守り合い、みんなで消費者トラブルを防ごう

相談員配置2年目、「声を掛け合い、見守り合い、みんなで消費者トラブルを防ごう」を合言葉に、町内さまざまな団体や部署にご協力いただきながら、安心安全なさつま町を目指して活動してきました。

相談受付

■件数(2月10日現在)

110件(情報提供を含む)

26年度は115件、25年度30件。

主な相談内容

住宅の補修工事、消火器、健康食品、健康器具など(訪問販売)、電話設定業務(電話勧誘)

主な情報提供

灯油ボイラーの訪問点検、警察官を名乗る詐欺、住居の補修工事、オレオレ詐欺、消火器の強引な訪問販売など。皆さんからお寄せいただいた情報について、窓口では、防災行政無線で注意を呼び掛けたり、サロンや高齢者学級、見守りの各団体などの講座で手口を紹介しました。

広報啓発、消費者教育

講座実施回数

49講座で、学校関係でも実施(サロン、民生委員・児童委員地区研修会、高齢者大学、在宅福祉アドバイザー研修会、公民館長連絡協議会、職業訓練校、高校など)。26年度は53講座。

■いきいきライフセミナー

今年度から生涯学習の一環として、消費生活講座に取り組みました。

「大人の家庭科」と題して5回の講座(日本茶を楽しむ、生命保険との賢い付き合い方、消費者市民社会って?、上手な家計管理術とは、遺言と相続)を実施しました。

■広報さつま

「知って得する消費生活基礎講座」12回掲載

来年度は、さらに多くの皆様に消費生活講座を受講していただけるように、情報発信してまいります。

サロンやお茶のみ会、PTAの集まりなど集いの場に伺いますので、お気軽に相談窓口へお申し込みください。

※ご注意ください

- ・マイナンバー制度に便乗した不審な電話等
- ・4月から始まる電力小売り全面自由化に伴う便乗商法



■相談窓口のご案内(相談無料・秘密厳守)

・電話相談の場合 ☎(53) 11111

(内線2283)

・来庁の場合 ↓ 役場2階商工観光課商工振興係へ(エレベーターもあります)

・土日の相談は消費者ホットライン **188** 泣き寝入りはいややへ(番号が変わりました)

お知らせ

健康診査日程

【3・4月分】

乳幼児健診・健康相談

■1歳7～8か月児

(H26・7生) 健診

3月16日(水)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■7～8か月児

(H27・7生) 育児相談

3月18日(金)

午前9時～午前9時30分

受付(宮之城保健センター)

■3歳児

(H25・1生) 健診

3月23日(水)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■2歳3か月児

(H25・12生) 歯科健診

4月7日(木)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■すくすく相談

4月8日(金)

午前9時～午前10時受付

(宮之城保健センター)

■Hugくみるーむ

(2か月児とママのための

育児相談)(H28・1生)

4月12日(火)

午前9時45分～午前10時

受付(宮之城保健センター)

■4か月児

(H27・11生) 健診

4月13日(水)

午後0時30分～午後1時

受付(宮之城保健センター)

■母子健康手帳交付

3月28日(月)

午後1時30分～午後3時

受付(さつま町役場本庁

2階会議室B)

・4月11日(月)

午前9時30分～午前11時

受付(さつま町役場本庁

2階会議室B)

※妊娠届出書・健康保険

証・印鑑をお持ちください。

■むし歯予防の日

(フッ化物塗布)

3月16日(水)

3月23日(水)

4月7日(木)

午後3時～午後4時受付

(宮之城保健センター)

■「えほんの森」

身長・体重測定

4月22日(金)

午前10時～午前11時受付

(子ども図書館 えほんの森

健康増進課 健康増進係

(内線2144)

シルバー人材

センターの 入会説明会

新規会員募集の入会説明
会を、毎月第3火曜日に定
例的に実施します。

人生の豊富な知識と経験

を活かし、生活のお手伝い

や地域・まちづくりに貢献

され、生きがいある人生の

一助とされたい方は大歓迎

です。参加を希望される60

歳以上の方は、事前にお電

話でお申し込みください。

なお、当日参加も可能です。

■3月の入会説明会

3月15日(火)

午前9時から

午前11時30分まで

■会場

シルバー人材センター会議室

■対象者

60歳以上の町民

■お問い合わせ先

町シルバー人材センター

☎(52) 3363

軽自動車等の廃車・ 名義変更手続きは お早めに

軽自動車税は、毎年4月
1日現在の軽自動車等の所
有者に課税されます。廃車

したり他人に譲ったりした

場合は、廃車・名義変更の

手続きが必要です。特に、

今春卒業する学生が使用し

ているバイク等の売買によ

る廃車・名義変更の手続き

については、早めに済ませ

ましょう。

また、農作業用として使

用しているコンバイン及び

トラクターは、「小型特殊

自動車」に該当します。町

の標識(緑色ナンバー)の

交付を受けていない方は、

速やかに手続きをお願いし

ます。

■お問い合わせ先

・税務課 町民税係

(内線2112)

・鶴田支所 税務係

(内線4214)

・薩摩支所 税務係

(内線6115)

B型肝炎ウイルス検査 受けましたか？

昭和23年7月1日から昭
和63年1月27日までの間で、
満7歳になるまでに集団予
防接種やツベルクリン反応
検査を受けた方は、B型肝炎
ウイルス感染の可能性が
あります。

■給付金等が支給される場
合があります

これらの集団予防接種等
により、B型肝炎ウイルス
に感染された方(これらの
方々の相続人を含みます)
に、病状に応じて50万円か
ら3,600万円の給付金
等を支給する仕組みがあり
ます。

■検査方法

B型肝炎ウイルスに感染
しているかどうかは、肝炎
ウイルス検査(血液検査)
で簡単にわかります。

詳しくは、厚生労働省ホ
ームページで「B型肝炎訴
訟」と検索してください。

■お問い合わせ先

・厚生労働省 電話相談窓口

(平日9時～17時)

☎03(3595)2252

・健康増進課 健康増進係

(内線2143・2144)

心配ごと相談所

毎週木曜日
午前10時～正午
宮之城ひまわり館

■お問い合わせ先

町社会福祉協議会

☎(52) 1123

ダニにご注意を!! 発生がピークは 春からです



ダニ類は日本
国内のどこにで
ても、また思った
よりも身近にい
ます。民家の裏
山や裏庭、畑、あぜ道など
にも生息しています。

ダニ類やツツガムシ類に
咬まれ、それらがウイルス
や細菌などを保有している
場合、咬まれた人が病気を
発症することがあります。

■マダニ等に咬まれて起こ
る感染症

・「日本紅斑熱」

・「つつが虫病」

・「重症熱性血小板症候群

(SFTS)」など

■マダニに咬まれないよう
に身を守りましょう

・マダニが多く生息する場

所に入る場合には、長袖・

長ズボン、足を完全に覆う

靴、帽子、手袋を着用し、

首にタオルを巻くなど肌の

露出を少なくしましょう。

・服は、明るい色のもの

(マダニを目視で確認しや

すい)がおすすめです。

・DEETという成分を含

む虫除け剤の中には服の上

から用いるタイプがあり、

補助的な効果があると言わ

れています。

・屋外活動後は入浴し、マ

ダニに刺されていないか確

銃や剣は登録を!

※銃砲刀剣類を発見又は
拾得し、警察署に発見届け
の手続き後、警察から「発
見届出済証」を交付された
方は、次の日程で登録審査
が行われます。指定の会場
で審査を受けてください。

■お問い合わせ先
健康増進課 健康増進係
(内線2144)

■マダニに咬まれたら
マダニ類の多くは、皮膚
にしっかりと口器を突き刺
し、長時間(数日から、長
いものは10日間以上)吸血
します。

吸血中のマダニに気付い

たら無理に引き抜こうとせ

ず、医療機関(皮膚科)で

処置してもらいましょう。

また、マダニに咬まれた

後に、発熱等の症状が認め

られた場合は、医療機関で

診察を受けましょう。

健康増進課 健康増進係

(内線2144)

国民年金



年金相談(事前に 予約が必要です)

年金加入記録や受給手続
き(障害年金)などについ
ての移動年金相談所を開設
します。希望される方は、

■お問い合わせ先
鹿児島県教育庁文化財課
指定文化財係
☎099(286)5355

■会場
鹿児島県青少年会館(鹿

児島市鴨池新町1-8)

■お問い合わせ先

鹿児島県教育庁文化財課

指定文化財係

☎099(286)5355

■時間
午前10時から午後3時ま

で(正午から午後1時を除

く)。午後2時30分までに

お越しください。

■登録審査日

第1回 5月10日(火)

第2回 7月12日(火)

第3回 9月13日(火)

第4回 11月8日(火)

第5回

平成29年1月10日(火)

届出をしないで所持すれば、

不法所持で処罰されます。

※美術品、骨とう品として価値の

ある火縄式銃砲等の古式銃砲又は、

価値のある刀剣類。

届出をしないです持すれば、

不法所持で処罰されます。

※美術品、骨とう品として価値の

ある火縄式銃砲等の古式銃砲又は、

価値のある刀剣類。

届出をしないです持すれば、

不法所持で処罰されます。

町民環境課町民係へお申し
込みください。
申込みの際に、相談者氏
名(旧姓)・配偶者氏名(旧
姓)・基礎年金番号・相談
内容等をお知らせください。
◎必ず相談時間をご確認
した10分前にはご来場く
ださい。

■当日必要なもの

・本人確認書類(免許証等)

・代理の場合は、委任状と

委任を受けた方であること

が確認できる書類(免許証等)

※委任状は所定の様式があ

ります。日本年金機構ホー

ムページからダウンロード

するか、川内年金事務所、

役場本庁町民係、各支所町

民福祉係までお問い合わせ

ください。

・川内年金事務所

☎0996(22)5276

(自動音声案内)

・日本年金機構ホームページ

<http://www.nenkin.go.jp/n/www/index.html>

■相談日時

3月22日(火) 午前10時

から午後3時30分まで

■相談会場

役場本庁1階 相談室B

■申込締切

3月15日(火)

■申込み・お問い合わせ先

町民環境課 町民係

(内線2123)

1月の火災・救急情報			
火災		救急	
◆発生件数	1件	◆出動件数	98件
内訳	建物 1件	運んだ人	91人
		◆内訳	
		急病	70件 62人
		交通事故	7件 8人
		その他	21件 21人

平成27年火災・救急件数(暫定値)			
火災		救急	
◆発生件数	11件	◆出動件数	1,136件
内訳	建物 6件	運んだ人	1,079人
	林野 2件	◆内訳	
	車両 1件	急病	613件 579人
	その他2件	交通事故	98件 102人
		その他	425件 398人

お手数ですが
52 円切手を
お貼りください

8 9 5 - 1 8 0 3

さつま町宮之城屋地 1565-2

さつま町役場
総務課秘書広報係 行
(2016/3月号)

フリガナ

◎ご氏名

年齢 歳 性別 / 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 () -

さつま町

お便りコーナー

広報紙をご覧になった感想や今後取り上げてほしい記事、皆さんの身の周りで起こった出来事、イラストなど、たくさんのお声を聞かせください。

※個人情報の取扱い
ご記入いただいた個人情報は、お便りのご紹介・賞品発送以外の目的では使用しません。

点線に沿って切り取ってください。
(官製ハガキでも可)

こんにちは保健師です

4月2日～8日は 発達障害啓発週間 です

毎年4月2日は、国際連合で定めた「世界自閉症啓発デー」です。日本では、世界自閉症啓発デーからの1週間を「発達障害啓発週間」と定め、発達障害について多くの方々に広く知っていただく機会としています。

発達障害とは

脳の機能に何らかの障害があり、行動や認知機能の遅れ・偏りといった症状が、通常低年齢（発達期）に現れるものを総称して「発達障害」といいます。

発達障害の種類と特徴

- ・自閉症スペクトラム
自閉症スペクトラムには、「対人関係や社会性の障害」「コミュニケーションの障害」「想像力の障害（興味や関心が狭く、特定のものにこだわる）」という3つの特徴があります。
- ・注意欠陥多動性障害（ADHD）
年齢あるいは発達に不釣り合いな行動の障害です。多動性、衝動性、不注意などのために、社会的な活動や学業の機能に支障をきたします。

だいたい7歳以前に特徴がみられます。

・学習障害
「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」などの能力のうち、特定のものが極端に苦手ですが、知的な発達の遅れはありません。

正しい理解と配慮が必要です

発達障害は、見た目に分かりにくく、特徴の現れ方もさまざまです。親の育て方や本人の努力不足が原因ではありません。早期の気づきと適切な支援を受けることが大切です。

■お問い合わせ先
福祉課 子育て支援係
☎(53) 1111 (内線2136)

一人で悩んでいませんか？
かけがえのない一人一人の大切な命 みんなで守っていきましょう。



お便り紹介

1 月31日に開催された「みやんじよ吹奏楽フェスタ」、良かったですね。幕開けのプログラムで、今年3月で閉校になる泊野・白男川・紫尾・校野・平川の5小学校の校歌を吹奏楽の演奏をバックに、子どもたちが元気に歌う姿は、とても感慨深いでした。小学生から大人までの団員が、それぞれ力を精一杯出し、それぞれの美しい音色に聞きほれた素敵な一日でした。団員今後がんばれ！
(育爺 67歳男性)

吹奏楽フェスタ、私も見に行きました。皆さんの本気の演奏は、どれも胸に響くものでした。さつま町は吹奏楽の町。子どもから大人まで素晴らしい演奏家がたくさんいます。来年もぜひ、聞きに行きましょう！
(秘書広報係・瀨島)

去 る1月30日、第2回関東佐志会が江戸川区の寿賀多で盛大に開催されました。参加者数は42人で、乾杯の掛け声と同時にカライモ弁が飛び交い、旧友との語らいや新たな参加者との交流が始まりました。余興コーナーでは、地元佐志の豊増さんから送られた

ビデオを全員で鑑賞し、佐志やさつま町の現状を身近に感じることが出来ました。また、歌自慢による歌唱やおはら節の踊りなどで大盛り上がりとなりました。いも焼酎が一段と美味しく感じられた早春のひとときでした。
(宮里貢 男性)

写真を拝見し、皆さんの笑顔から楽しかった様子がうかがえます。今後も多くの方が参加し、末永く交流ができるといいですね。
(秘書広報係・花田)

※文章は、紙面の都合上添削させていただく場合があります。



墓石 納骨堂 銘碑の彫り込み 墓石・納骨堂 解体・撤去 お墓のリフォーム

確実な信頼と永年の実績を誇る
鳥居石材店 鳥居通
さつま町虎居町7-8 TEL0996(53)1189



ナースアシスタント募集!!
年齢問わず・介護に興味のある人歓迎

&
看護学校奨学金制度
あります

働きながら資格が取れます!
薩摩郡医師会病院 TEL: 0996-53-0326



有料広告 募集中

■広報さつま
1 枠: 1万円
サイズ: 縦6.0cm×横8.5cm
発行日: 毎月第1木曜日
発行: A4版 全編カラー印刷

【お問い合わせ先】
総務課 秘書広報係 ☎53-1111 (内線2212)



出水法律事務所
弁護士 米田圭吾 (鹿児島県弁護士会所属)
鹿児島県出水市昭和町3-24
0996-79-3535
月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時まで
相続、離婚、借金、労働、交通事故、その他幅広い分野を取り扱っております。お困りのことについて、お気軽にご相談ください。まずは、お電話でご予約ください。

初回の相談料は
1時間まで無料です

2月子牛せり市結果 期日: 2月4日(木)～5日(金) (消費税抜き、売却分) (単位: 頭・円・kg)

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対1月分)
めす	249	185,834,000	1,668,000	746,321	281	71,083円高値
去勢	338	264,877,000	1,201,000	783,660	303	39,007円高値
合計	587	450,711,000	1,668,000	767,821	293	52,759円高値



1歳で～す

毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん

いけだらいお
池田 頼勇ちゃん

平成27年3月4日生



広橋公民会

父 **広 輝** さん
母 **やよい** さん

両親から一言

名前に負けず頼れる
男の子になってね!!

表紙の写真説明

永野交流館で毎週行われている、ころばん体操教室です。

歌を歌いながら、おもりをつけた脚や腕の上げ下げなどを行い、筋力アップを目指しています。

関連記事はP2～P7。



誕生おめでとう

1月16日～2月15日届出分(6人) 敬称略

あかちゃん 性別 保護者 公民会

植園 陽輝 はるき 男 大平 西手

杉元優稀菜 ゆきな 女 大輔 西手

小椎八重雄陽 光 虎居町

市山 舞奈 まな 女 大樹 湯之元

甫立 星輝 そらい 男 幸次朗 東町

巻木 航平 こうへい 男 春信 轟原

おくやみ申し上げます

1月16日～2月15日届出分(32人) 敬称略

なくなつた人 年齢 公民会等

鶴園 トク 二渡

七瀬谷アキ 築平

濱 義正 虎居馬場

有馬 ミチ 上場

川口 耕郎 上川口

富松 莊二 上仲町

外園 久治 甫立

増田 チリ 鶴田南

米盛 ナソ 荒瀬

上園 幸喜 小路下手

新留 知美 山崎麓

有馬アヤ子 金山

若松 慶子 屋地馬場

神野 駿一 荒瀬

赤崎 弘道 下中福良

若松 光雄 船木西

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

なくなつた人 年齢 公民会等

坂田田鶴子 愛宕

西 知也 西手

關 幾郎 川原町

永徳 キワ 二渡

宮路 ヒサ 湯田原

上原 道信 二渡町

指宿 幸男 大保

若松イクエ 尾原

假屋原ハス 上寺下

神之田博実 大薄上

大野 靖孝 大野

渡 節 浦川内

西之園裕二 紫尾上

日當瀬郁夫 轟原

永吉 記年 船木東

奥蘭 トミ 町頭

県広報コンクール

一枚写真の部で **特選**

平成27年度鹿児島県広報コンクールが開催され、広報さつま11月号の表紙写真が特選に選ばれました。受賞した作品は、県代表として、公益社団法人日本広報協会主催の「平成28年全国広報コンクール」に出品されます。これからも、皆様に喜んでいただける広報紙づくりに努めてまいりますので、広報さつまをよろしくお祈いします。

鹿児島県広報コンクールの結果は、県のホームページでご覧いただけます。

☆審査員講評…ふるさとを流れる川内川がもたらす秋の恵みをうまくとらえた、さつま町ならではの一枚。

お詫びと訂正

今月号の掲載記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

■11ページ シルバー人材センターの記事 本文11行目

【誤】26年度の契約額は県内3番目。

【正】26年度の一般労働者派遣事業契約額は県内3位。請負契約額は同12位。



読者プレゼント

さつまるちゃん

トートバッグ



※色は選べません

お便りをお寄せくださった方の中から**5名様**にプレゼント。たくさんのご応募お待ちしております。

【応募締切】
3月29日(火)消印有効

町長の動静(平成28年1月)

※主な会議及び行事

1日(金) 第63回新春泳ぎ初めく川内川宮都大橋下(小中高生・一般113人)

4日(月) 仕事始め式(本庁・消防本部・薩摩支所・鶴田支所)

町内官公庁等年始あいさつ回り

町成人式339人(男性182人・女性157人)

家畜市場子牛初せり市

5日(火) 北薩地域振興局・税務署・河川事務所ほか官公庁年始あいさつ回り(薩摩川内市)

6日(水) 来客対応(日特別社長) ▽町内立地企業年始あいさつ回り(22社)

県庁・県議会・県町村会ほか関係機関年始あいさつ回り(鹿児島市)

県観光関係者新年互礼会(鹿児島市)

8日(金) 町内立地企業年始あいさつ回り(9社)

来客対応(サトウ精工社長・鶴田ダム管理所専門官ほか)

建設課・企画財政課・耕地林業課協議 ▽指名推薦委員会会議報告受

職員等新年交流会

10日(日) 町消防団消防出初式・出初祝賀会(二渡・山崎・久富木分団)

北薩空港幹線道路・国道328号・川内川環境整備九州地方整備局長要望(福岡市)

来客対応(北薩地域振興局農林水産部長)

14日(木) 来客対応(宮之城リゾート(株)会長ほか) ▽町総合振興計画審議会

職員朝会 ▽来客対応(長島町長・川内税務署長・滞納整理指導官ほか)

教育総務課協議 ▽ゆるぎやら@「もずやん」訪問対応

百歳到達者祝金贈呈 ▽通夜 ▽叙勲受章祝賀会

衆議院議員「新春のつどい」国政報告会(出水市)

県下一周・地区対抗女子駅伝競走大会川薩地区合同結団式(薩摩川内市)

県市町村行政推進協議会行政委員会県外視察(19日まで 福岡県・佐賀県)

20日(水) 当初予算町長査定 ▽農政課会計実地検査対応

来客対応(九州電力原子力部長ほか) ▽総務課意見交換会

当初予算町長査定 ▽来客対応(鹿児島国道事務所長・川内川河川事務所長)

商工観光課協議

22日(金) 課長会 ▽県市町村職員共済組合理事打合せ会(鹿児島市)

町商工会「新春のつどい」

23日(土) 北薩摩物産観光展(トップセールス)(鹿児島市)

25日(月) 課長会(大雪・寒波対策) ▽商工観光課・教育総務課協議

26日(火) 国土交通省事務次官ほか要望活動(北薩空港幹線)・B&G全国サミット(東京都)

27日(水) 企業訪問活動(神奈川県・京都府)

28日(木) 鹿児島県大阪事務所訪問(大阪府)

29日(金) 課長会 ▽来客対応(さつま警察署長) ▽総務課・水道課協議

医師確保等要望活動(県庁・鹿児島大学病院)

市町村と医師会、鹿児島大学病院との意見交換会(鹿児島市)

さつま町の
学校再編情報

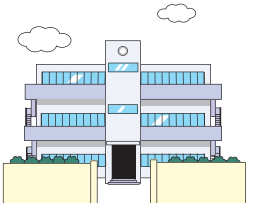
中学校再編準備委員会

町内4中学校を再編して平成31年4月に開校する新しい中学校の名称について、中学校再編準備委員会で協議を行ってきました。

昨年12月22日に開催された第4回再編準備委員会で、新しい中学校の名称を新生の「宮之城中学校」とする意見のとりまとめが行われました。

名称以外の項目では、校歌・校章・校訓及び制服は新たに制定することも確認されました。

■お問い合わせ先
教育総務課 総務係
☎(53) 1111
(内線2511)





おぼら かりん
小原 海璃 さん

佐志小学校6年



漫画で人を笑顔にしたい

わたしの将来の夢は、漫画家です。わたしは、好きな漫画を読むと自然と笑顔になれます。だから、わたしも漫画を描いているんな人を笑顔にしたいと思い漫画家を目指すことにしました。

今は、夢の実現に向けて、絵を描いたり、ストーリーを考えたりしています。だけど、登場人物の表情がなかなかうまく描けません。喜怒哀楽^{きどあいうく}を表現し、どんなことを考えているか分かってもらえるように、漫画の描き方をもっともっと勉強していきます。



竹紙を使用しています
 （竹パルプ10%配合）

休日在宅医

3 月

6日 林田内科	☎53-1177
13日 薩摩郡医師会病院	☎53-0326
20日 相良医院	☎53-0160
21日 海江田医院	☎53-0006
27日 立志病院	☎55-9119

4 月

3日 ますざき医院	☎57-0010
10日 薩摩郡医師会病院	☎53-0326

休日当番薬局

3 月

6日	ありません
13日	青空薬局 ☎52-0101
20日	うさぎ薬局 ☎52-4116
21日	タバタ薬局 ☎21-3344
27日	フタヤ薬局 ☎59-2033

4 月

3日	ぎんざ薬局求名店 ☎31-6500
10日	青空薬局 ☎52-0101

わたしたちの町

推計人口による

人 口	22,163人（-46人）
男	10,282人（-19人）
女	11,881人（-27人）
世帯数	9,639世帯
転入	22人
転出	37人
出生	10人
死亡	41人
（平成28年2月1日現在）	
（ ）は前月対比	